

# 豊かな明日につながる 沖縄のこども支援

2022年6月5日

うるまこどもステーション共同事業者

医師 遠藤尚宏



# 今日の話のポイント “つながり”

## • 連続性

- 「定型発達」「スペクトラム」
- 「発達支援」の基礎は普通の子ども支援、子育て支援
- 虐待

## • インクルーシブ(共生)

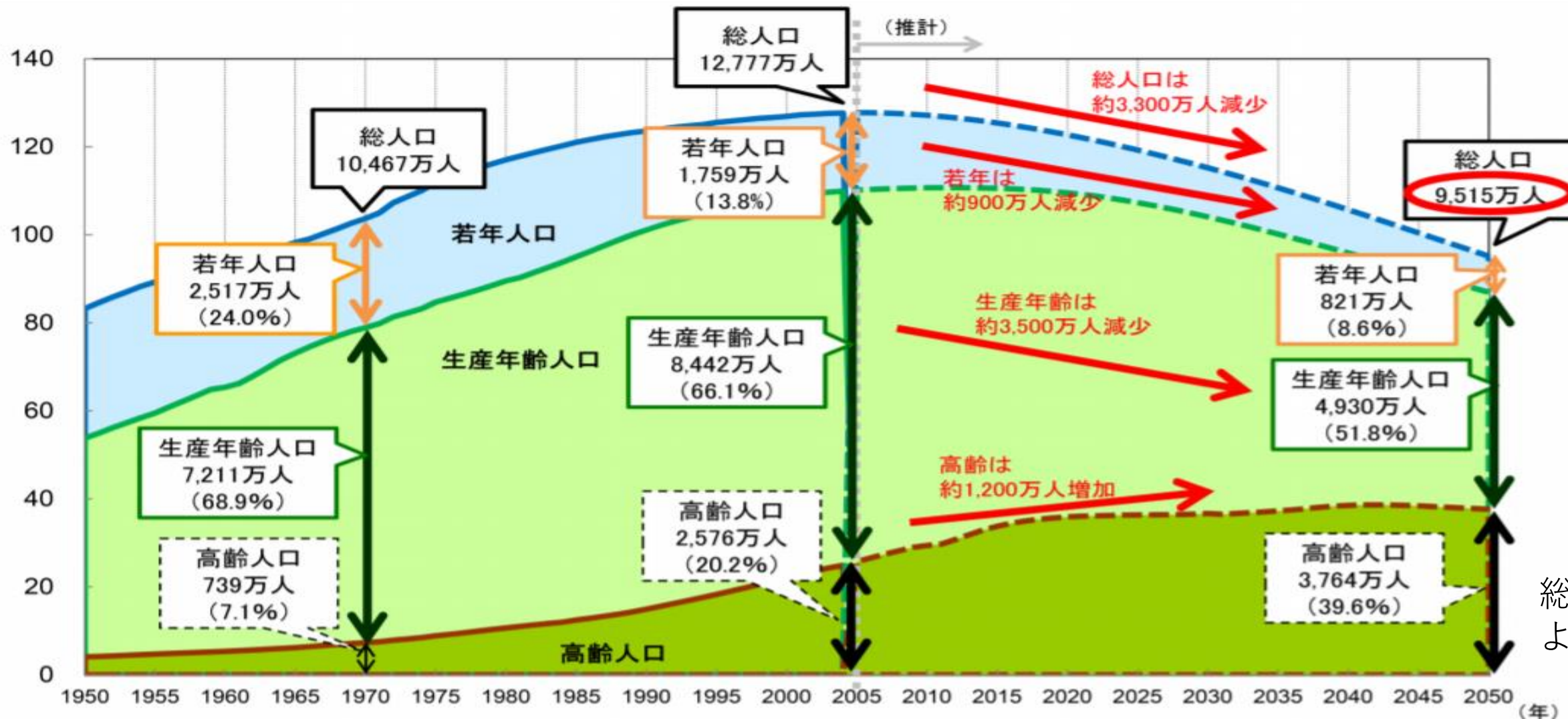
= 障害のあるなしにかかわらず、共に暮らせること

## • 今日から明日へ 人から人へ

次の世代に何をつないでいけるか

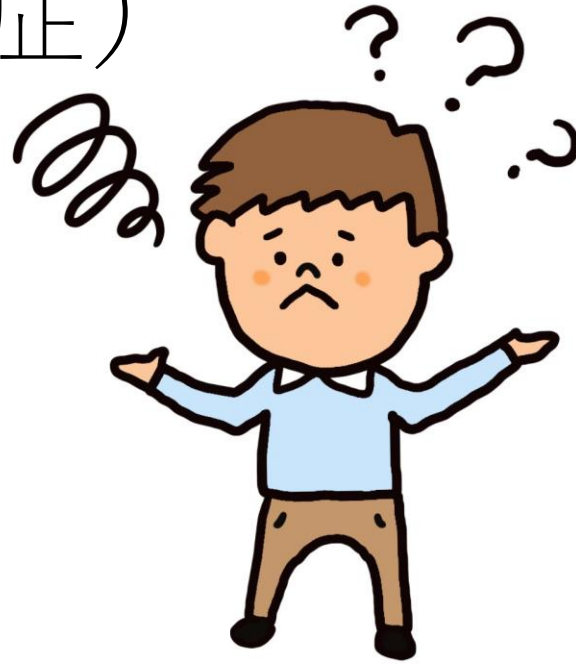
# 我が国における総人口の推移（年齢3区分別）

- 我が国の総人口は、2050年には9,515万人となり、約3,300万人（約25.5%）減少。
- 高齢人口が約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口は約3,500万人、若年人口は約900万人減少。その結果、高齢化率は約20%から約40%に上昇。



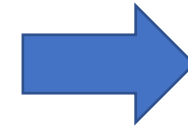
総務省  
より

# 発達障害（神経発達症）



# 発達・行動に課題を持つ子の増加？

- 注意欠如多動症(ADHD) 5%
  - 自閉スペクトラム症 1~2%
  - 知的障害 1%
- そのほか、不安障害など



医学的には  
増えていない

## 気になる子は増加しているのか??

- ⇒
- 1 発達障害が周知されてきた
  - 2 診断を行える専門家が増えてきた
  - 3 支援に診断書を必要とすることが増えてきた

海外の研究より

もともと支援が必要な子は存在していた



# 自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder, ASD)

**個性**

・

**特性**

+

- 社会性・コミュニケーションの問題
- 興味の偏り、こだわり、感覚の偏り
- 上記の特徴のために日常生活に支障が起きている
- 発達早期から認められる、複

**日常生活に支障**

**一時的ではない**

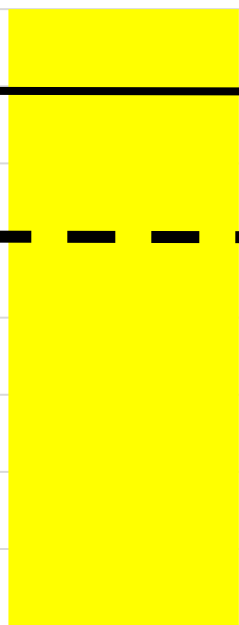
# 「発達障害」の原因は一つではないかもしれない

日常生活への障害の程度

発達障害と診断されうるレベル



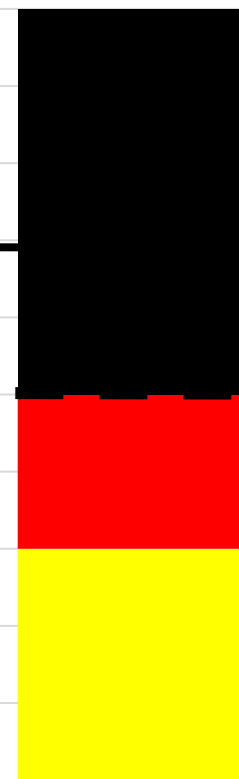
Aさん



Bさん



Cさん



Dさん

■ 生まれつきの特性

■ 身体的ストレス

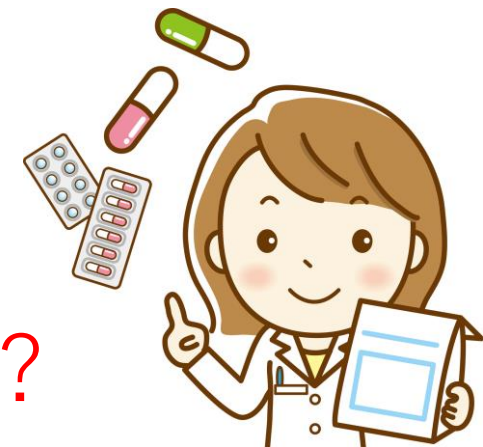
■ 精神的ストレス

# 発達支援の現状と課題

- どのように保護者と気づきや困り感を共有するか
- 情報が氾濫している
- 受診待機期間が長い
- 対応をどうするのかわからない、自信がない
- 支援者側が多種多様
- 国、県、市町村で役割が異なる、かぶる
  
- 発達支援だけでは済まない  
貧困、虐待



# “教育の医療化”



先生・学校が対応に困る = 障害？



医療機関受診(診断書)を勧められる

## • 支援が必要な子たちの予後は決して悪くない!

- こどもの時にADHDと診断された子のうち、成人になってもADHDと診断されるのは5~22%ほど
- 不登校の70~80%はその後社会に適応して生活している

• 教育の目標とは？

• 特別支援教育を受けると何がよいのか？

よくない予後（不適応の結果、二次障害を起こす）

- “うつ”

- “アルコール依存症”

“不信の病”

アルコールは暴力リスクを高める

- **薬物依存、精神障害、虐待リスク等を持つ親の子ども達には医療的に共通の影響がでる** [ACE studyより]

心身の病気を抱えやすい

自尊心が低い 被害的 感情表現が拙い

おびえながら感情を殺して生活する or 家に居場所がない

暴力親和性がある

→ **世代をまたいで循環する**

妊娠、育児(のストレス)を楽しい、幸せと思えない

# 児童虐待

## 不適切な養育（マルトリートメント）

ネグレクト、心理的・身体的・性的虐待

= **こどもの安全**、生理的、社会的欲求が**脅かされて**  
いる

**従わせるだけではこどもの自主性は育たない**

しつけとしての体罰

笠井清登 「思春期・AYA世代支援の科学」スライドより

→いじめの加害者になる可能性が1.9倍

「見られてなければいい」、「自分より弱い相手ならいい」

(2019年に児童福祉法と児童虐待防止法で体罰禁止が明記された)

(発達が気になる) 子どものためにしない  
ほうがいいこと

- **その子の発達レベルを超えた要求をする**
- **話すことが苦手な子に、うまく話すようプレッシャーを与える**
- **叱るだけで褒めない**
- **しつけと称しての体罰**
- **力関係・恐怖によって従わせる**

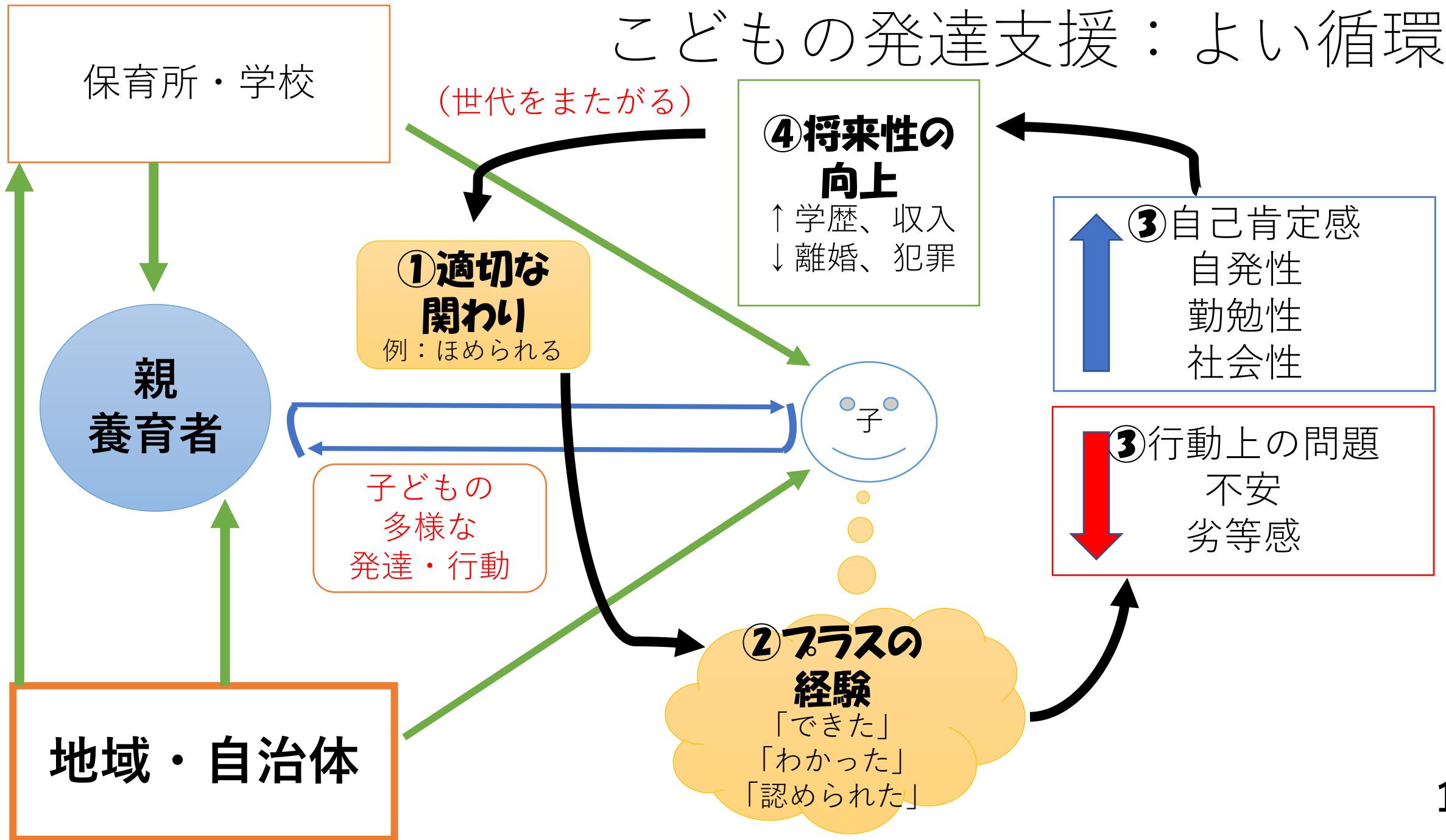
地域、行政、支援者が連携して親子を支えられるか

# したほうがよいこと

- こどもの言葉をきく
  - 気持ちに寄り添う
  - 穏やかに、簡潔に
  - 個性、長所を伸ばす
  - 「ありがとう」
  - 結果より努力を評価
- 
- 大人が環境を用意する
  - 大人が先に変わる

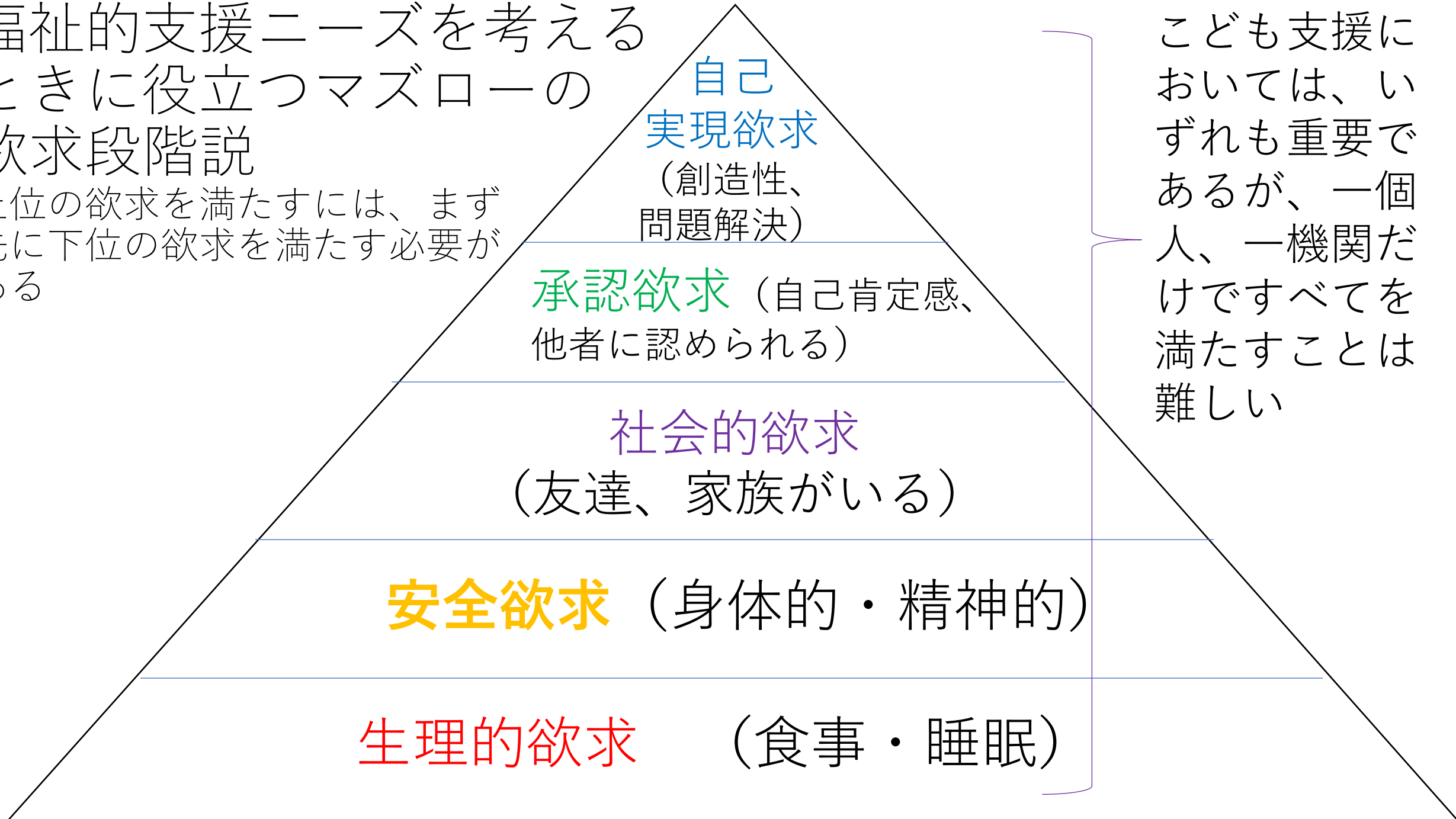


# こどもの発達支援：よい循環



# 福祉的支援ニーズを考える ときに役立つマズローの 欲求段階説

上位の欲求を満たすには、まず  
先に下位の欲求を満たす必要が  
ある



**自己  
実現欲求**  
(創造性、  
問題解決)

**承認欲求** (自己肯定感、  
他者に認められる)

**社会的欲求**  
(友達、家族がいる)

**安全欲求** (身体的・精神的)

**生理的欲求** (食事・睡眠)

こども支援に  
おいては、い  
ずれも重要で  
あるが、一個  
人、一機関だ  
けですべてを  
満たすことは  
難しい



# こどもステーションの設立理念

## 使命

**地域と共に、多様な子ども・家庭を見守り、多面的に支援する**

## 信念

**子どもの将来性を高めることは、よりよい社会を作ることにつながり、社会的・経済的に有効な未来への投資である**

## 目標

**こども支援、共生社会の実現に関して、地域・国をリードする存在となる**

## 究極の目標

**地域の子ども達・子育て世帯の「駅」、「灯台」のような存在となる。子どもがここで成長して、それぞれの目標に向けて旅立てるように寄り添い、道しるべとなる**

# うるまこどもステーション



赤ちゃん



幼稚園／保育園



小学生



中学生



高校生



大学生



こどもたちの**笑顔**を守る  
**安全**を守る、**権利**を守る、**健康**を守る